

# セミナー開催後 レポート

2020年の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、水際対策として長く行われてきた外国からの入国制限。この措置によって技能実習生の採用が極めて困難となったため、特定技能を活用した外国人材の雇用ニーズが急速に高まったのも記憶に新しいところです。2021年夏以降からワクチン接種が進んだこと、そして新型コロナウイルスの対処方法の周知拡大によって、外国人の渡航制限も徐々に緩和。2022年3月にはおよそ2年ぶりに、外国人の入国が実質的に解禁されることとなりました。日本への渡航が解禁されたとはいえ、そもそも外国人材の雇用においては様々な課題があり、これから外国人材の雇用を検討する企業様においては事前に知っておかなければならないことも数多くあります。当セミナーでは全国6空港において多種多様なお客様対応の実績をお持ちの株式会社JTBビジネストランスフォームの早川浩平氏、技能実習生や特定技能外国人の入国サポートで数々の実績をお持ちの株式会社JTBの依田友奈氏を講師に迎え、いよいよ渡航が始まった外国人の入国時、そして入国後に必要な対応や求められるサポートについて、わかりやすい説明を行いました。

2022年3月25日に開催された、セミナーの様子をレポートで紹介いたします。

■**渡航解禁に伴う外国人材雇用を学ぶセミナーに39名が参加！**

# 約2年ぶりに渡航解禁！ 最新の入国情報お届けします！

JTB & CAM

CAREER ASSET MANAGE INC

当日はWEB開催のイベントに、39名の採用担当者様にご参加いただきました。

セミナーは二部構成で、第一部では「コロナ禍における入国」をテーマに、現在の渡航状況や渡航に関する実際の流れ、注意点などを紹介。第二部では「企業に求められる外国人サポート」と題し、外国人活用の課題から企業が求める外国人社員像、これからの活用に求められるサポートなどについての解説を行いました。

セミナーに参加された企業様は、外国人技能実習生や特定技能外国人などの実績をお持ちの企業様が多く、いかに渡航解禁に対して関心が高いかをうかがい知ることができました。

## ■セミナーの主な内容 抜粋

## 最新の入国情報とJTBサポート内容のご紹介

2022年3月25日（金）  
株式会社JTB 虎ノ門第四事業部 営業2課



### 第一部：「コロナ禍における入国」

- ・現在の渡航状況
- ・航の実際の流れ
- ・渡航の際の注意点
- ・お役に立てるJTBのサービス

- (1) 渡航状況**
- (2) 入国に必要なこと**
- (3) 渡航の際の注意点**
- (4) JTBの入国サポート**

第一部においては特に入国の際に何が必要で、どのような条件があるのかについて、具体的な説明を行いました。特に水際対策の地域指定国は緩和されているものの、必須書類のチェックやPCR検査、入国後の待機期間や厚生労働省が指定するアプリのインストールが必要になるなど、注意点についても案内しました。

A photograph showing a business meeting. Two people are seated at a table, looking at several documents with bar charts. One person is holding a pen. The scene is lit with a warm, golden light from the right. A dark blue banner with white text is overlaid on the image.

## 第二部

# 「企業に求められる外国人サポート」

第二部：「企業に求められる外国人サポート」

- ・外国人活用の課題
- ・企業が本当に求める外国人社員像とは
- ・これからの外国人活用に求められるサポート

# 在留資格別外国人労働者数の推移

図 1-1 在留資格別外国人労働者数の推移

(単位：千人)



出典：厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況」（各年10月末現在）

注1：「専門的・技術的分野の在留資格」とは、就労目的で在留が認められるものであり、経営者、技術者、研究者、外国料理の調理師、特定技能等が該当する。

注2：「身分に基づく在留資格」とは、我が国において有する身分又は地位に基づくものであり、永住者、日系人等が該当する。

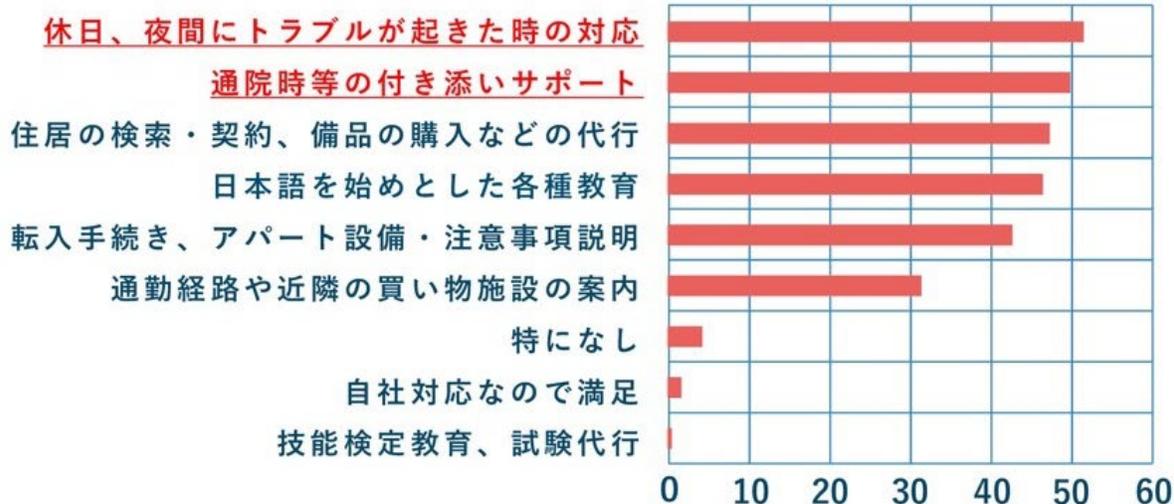
注3：「特定活動」とは、法務大臣が個々の外国人について特に指定する活動を行うものである。

注4：「資格外活動」とは、本来の在留目的である活動以外に就労活動を行うもの（原則週28時間以内）であり、留学生のアルバイト等が該当する。

出典：厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況（令和3年10月末現在）

## あると嬉しいと回答されたサポート

10年近く受入されて活用経験の多い企業様や、これから新たに雇用を検討されている企業様が希望されているサポート内容は以下の通りです

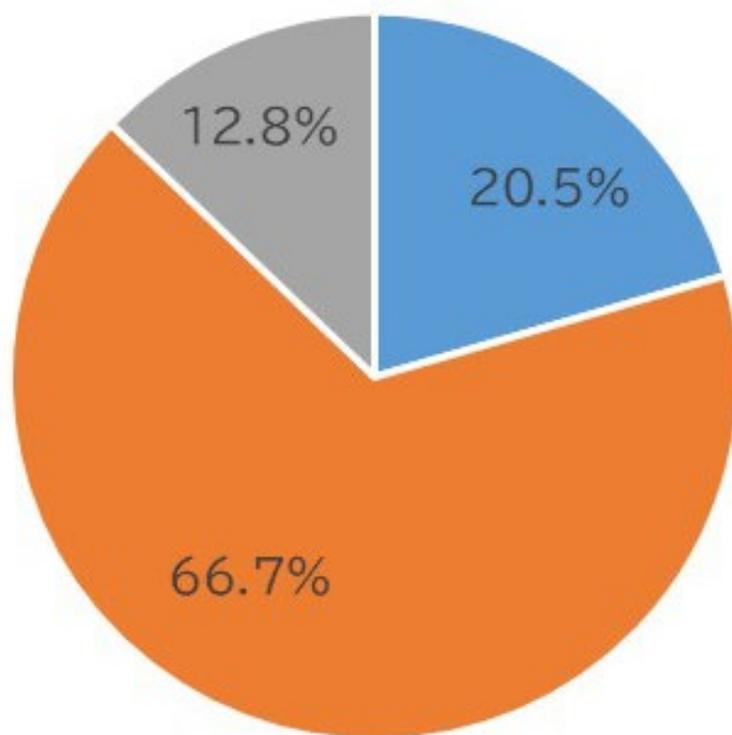


第二部では外国人材の活用における具体的な課題に対し、外国人が安心して日本で仕事や生活を送るための環境づくりについて、必要とすべきサポートについて解説を行いました。特に企業が求めるサポート内容については、これまで当セミナーで行ってきたアンケート結果をもとに紹介しています。

■満足度81.3%！外国人材の活用経験があるからこそその課題を感じている声も

## セミナーの満足度

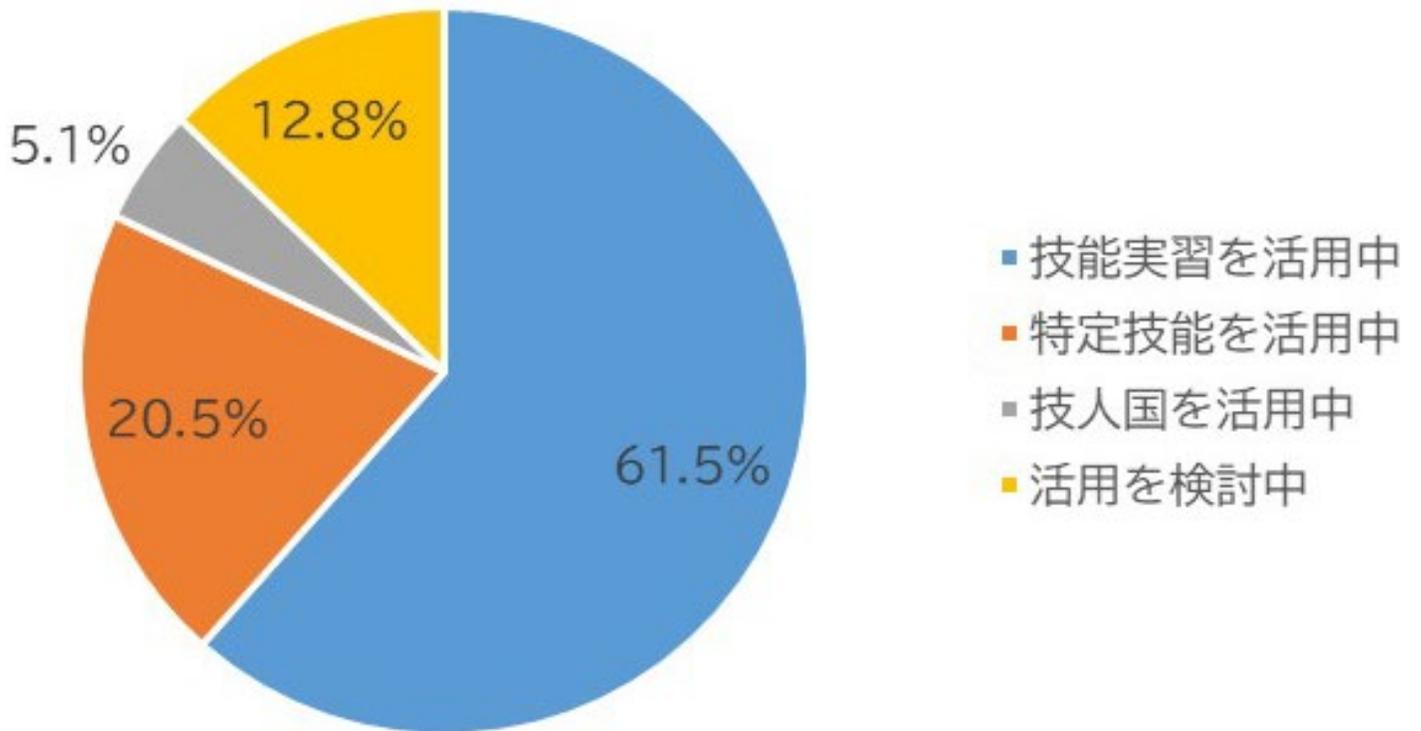
**87.2%**



- 非常に参考になった
- 参考になった
- どちらともいえない

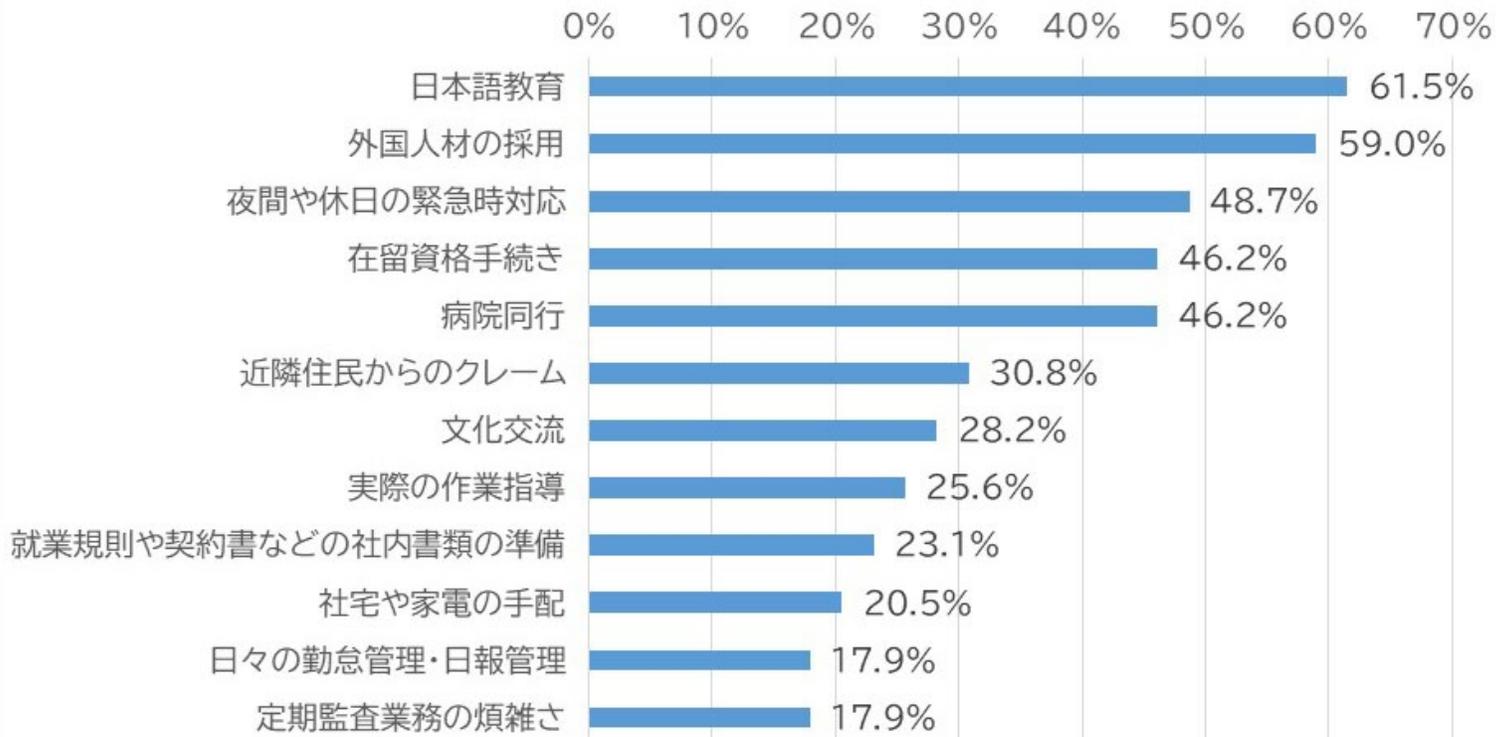
参加された方の満足度は81.3%と高く、関心を持って受講していただいた様子です。

## 海外人材の活用状況



参加された企業様は9割近くが海外人材を活用中でしたが、そのうち技能実習を活用されている企業様は61.5%でした。入国制限の規制緩和や渡航解禁にどれだけ関心を寄せ、外国人材の活用について今後への注目度が高かったかが明らかとなりました。

## 外国人材活用で課題に感じていること(複数選択)



参加された企業様に「外国人材活用・導入で課題に感じていること」を伺ったところ、「日本語教育」と「外国人材の採用」を挙げる声が多く、次いで「夜間や休日の緊急時対応」という結果となりました。すでに外国人材を雇用しているからこそ、実際のコミュニケーションや採用活動に多くの課題や不安を感じている企業様も多いことが伺えました。

また、参加された方からのご意見・ご質問として、以下の声がありました。

「アジア圏でのワクチン摂取率について、より詳細な情報を知りたい」

「特定技能外国人が長期休暇で出国する場合、入国便の確保状況を知りたい」

「一時帰国の際の再入国について、ワクチン接種回数での待機期間について知りたい」

いただいたご意見は今後のセミナー企画の参考にさせていただきたいと思っております。

### ■注目のGMSセミナー

キャムテックでは海外人材マネジメントサービス【GMS】のセミナーを定期的で開催しております。より具体的、現場に即したテーマで開催して参りますので、ぜひご参加ください。

<https://gms.ca-m.co.jp/archives/seminar>